

いわて鳥獣保護センター通信

第十号

発行日

平成24年4月9日

○現在の収容鳥獣と平成23年度の救護状況

現在、当センターで終生飼育されている野生鳥獣の収容状況を左下の表に示します。ハクチョウの北帰行シーズンの影響で、オオハクチョウの収容羽数が一時的に増えているのがこの時期の特徴です。

平成23年度の岩手県鳥獣保護センターでの救護個体の集計を右下の表にまとめました。昨年度はカルガモのヒナとタヌキの赤ちゃんのグループの搬入があったので、カルガモとタヌキの数が増えています。また、昨年の秋にサギ科の鳥類の搬入ラッシュがあり、サギ科の合計が12羽に達する珍しい年でした。

救護される動物種の個体数は年によってかなり変動しますが、過去2年間で目立って感じるのはトビとノスリの搬入の減少です。野外で見かけなくなったわけではないですが、3、4年前までは安定して搬入の上位に入っていたこの二種が、ここ最近では珍しいお客さんになっています。

昨年度の収容個体の野生復帰率は33.8%で、以前と比べてやや上昇しました。センターの施設が整備されたおかげで、動物にあわせた環境作りがやりやすくなった成果がでているようです。今年をもっと成績の改善を目指して頑張ります！



現在センターにて収容中の動物

獣類	
ホンシュウジカ	オス1、メス1
ノウサギ	オス1
猛禽類	
トビ	8
ノスリ	4
フクロウ	2
チョウゲンボウ	2
サシバ	1
オオタカ	1
その他の鳥類	
オオハクチョウ	25
コハクチョウ	2
クロガモ	1
マガン	1
ヒシクイ	1

平成23年度の救護個体 獣類 10種 46頭、鳥類 50種 194羽

カルガモ	33	ハシブトガラス	3	クロガモ	1
オオハクチョウ	24	アオサギ	3	モズ	1
スズメ	15	オナガガモ	3	ヤマバト	1
タヌキ	15	ツキノワグマ	2	ヨシゴイ	1
ドバト	10	コムクドリ	2	ウミネコ	1
キジバト	10	チョウゲンボウ	2	アカエリヒレアシシギ	1
フクロウ	8	ハヤブサ	2	ウグイス	1
アブラコウモリ	7	シジュウカラ	2	カワラヒワ	1
ニホンカモシカ	7	ゴイサギ	2	カワセミ	1
ヒナコウモリ	5	トビ	2	キビタキ	1
ヒヨドリ	5	アオゲラ	2	ヤマシギ	1
コハクチョウ	4	オオタカ	2	ハクビシン	1
アナグマ	4	ササゴイ	2	ハチクマ	1
キジ	4	キツネ	2	ニホンジカ	1
ムクドリ	4	ノスリ	2	コミミズク	1
ハシボソガラス	4	コガモ	2	スズガモ	1
チゴハヤブサ	4	マガモ	2	イエウサギ	1
チュウサギ	4	ハクセキレイ	2	シロハラ	1
オオミズナギドリ	4	キセキレイ	1		
ハイタカ	3	シメ	1	不明:鳥類	2
ツバメ	3	サシバ	1	不明:獣類(コウモリ)	1

特別天然記念物

天然記念物・希少種

救護の対象外

センターの新事務所とトリインフル対策

鳥獣保護センターの施設整備が一段落し、またトリインフルなどの伝染病防疫対策の強化の必要性から、センターの受付事務所が新しい場所に移動しました。



鳥獣保護センターの事務所は従来 正門を入れて奥、右側の管理棟に診療室と併設してありましたが、新年度からは正門を入れてすぐ右手、療養舎北側の部屋に変更になりました。これからはご来場の際には入り口近くの新事務所にて受付していただけるようご理解とご協力をお願いします。

今年の2月末には当センター近郊でカルガモからインフルエンザウイルスが検出された事例があり、センターも重点監視区域内に入り、緊張が非常に高まりました。幸いにも、検出されたウイルスは低病原性のものでしたが、現在でも近隣国で高病原性のトリインフルエンザは発生していて、常に発生を想定し

た対応を継続し続ける必要があります。しかし、残念ながら野鳥のトリインフルエンザの対応については案外知られていないのが、我々センター職員の感じる現状です。そこで、ここで簡単にセンターに野鳥を持ちこまれる場合の注意事項についてあわせて説明します。

まず弱った野鳥を見つけた場合、直接素手で触ったりゲージに入れて運んだりするのは絶対にやめましょう。使い捨てのプラスチック手袋を使用し、段ボール箱など糞や羽が飛び散らないような容器に収容して運んでください。万が一感染があった時に使用した道具や衣服などから汚染が広がらないように、感染の危険がないと判断されるまでビニール袋に入れて保管するなどの必要な対策をとってください。

野鳥の種類によって感染の危険度の高いものから低いものまで様々ですが、弱った鳥を捕食する猛禽類（ワシ・タカ類）は特に感染の高い種として厳重に取り扱う必要があります。多くの猛禽類や重度の神経症状がみられる野鳥は搬入時にトリインフルの簡易検査を受け、一週間は厳重に隔離して飼育し、健康を観察する必要があります。センターでは野鳥の種類や症状に応じて必要な対策をとる必要がありますので、**野鳥の搬入時には必ずセンター職員の確認を受けてから敷地内に持ち込むようにしてください。絶対にいきなり診療室に持ち込むような事はやめてください。**

トリインフルエンザに限らず、野生動物は人間や家畜に感染する恐れのある様々な病原体を持っている可能性があります。センターでは野生動物の病原体についても調べられるように、検査設備や大学、家畜保健所などとのネットワークも充実させていくように努力しています。

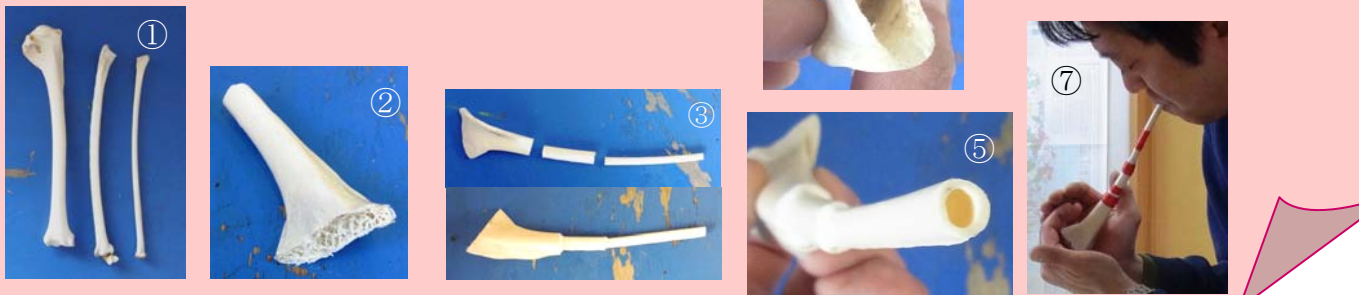


新事務所隣に新設した検査室

ウイングボーン・コールを作ってみよう

鳥獣保護センターでは動物の毛皮や骨格、剥製などの標本の作成を行っていますが、今回は鳥の翼の骨を使った「ウイングボーン・コール」を作ってみましたので紹介します。ウイングボーン・コールはネイティブアメリカンが野生の七面鳥をおびき寄せるために使った、七面鳥の骨で作った笛です。

- 材料は今回オオハクチョウの翼の骨3本(上腕骨、橈骨、尺骨)を使用しました①。
- 上腕骨の肩関節に近い方がラップ口になるので②のように切断します。骨の内側は硬い骨でできたスポンジ状になっているので、ドリルやヤスリを使って削りましょう。
- 太さの違う3本の骨を写真のように切断し、太い骨に細い骨が入るように少し骨の表面を削って挿入し、接着します。基本的にこれで完成です…。ラップ口の中を少し削っただけ④で、吹き口⑤も特に何の加工もしていません。
- つなぎ目にビニールテープを巻いて仕上げます⑥。テープの色や巻き方に工夫するとどんどんカッコ良くなります。革ひもを付けるのもおしゃれです。
- 少しコツがいりますが、手のひらに反射させるように強く吹くと「ピュッ、ピュッ」と鳴ります⑦。あまり使い道のない笛ですが…、たまには遠いアメリカに思いを馳せてみるのもいいんじゃないでしょうか？



飼養ボランティアへのお誘い

鳥獣保護センターではときどき保護された野生動物のお世話を飼養ボランティアに登録していただいた方々にお願いする事がありますが、なかなか登録していただいたすべての皆様をお願いする機会がない、せっかく登録したのに何も頼まれない、というのが現状だと思います。そこで、今回は飼養ボランティアについて少し紹介してみようと思います。

センターで飼養ボランティアをお願いする動物は主にコウモリ、小鳥、ヒナです。繊細な管理や観察が求められるコウモリは特にコウモリに関して詳しく、飼育経験のあるボランティアの方をお願いし、種類によって餌の種類や配合が微妙に違う小鳥はやはり飼育経験の豊富な方に、夜明けから日没まで一日中付きっきりの世話が必要なヒナはよほど時間の都合が付けられる方をお願いしています。

生き物を飼うという事は、ただ餌と水をあげればよいという訳ではありません。特に野生動物はペットと違い、特殊な餌や飼育環境を必要とします。人との生活そのものがストレスになったり、人間生活にとっては迷惑な習性を持つものもあります。命あるものをお願いする以上、私達としても慎重にならざるを得ません。となると、どうしても見知った方をお願いする事になりがちです。

これからはヒナの搬入が多い季節に入り、ボランティアの活躍が期待される場面が多くなります。ヒナの世話に活躍したいと熱意ある皆様は、一度センターに情報交換に来てみませんか？!



岩手県鳥獣保護センター

○所在地 〒020-0173 滝沢村滝沢字砂込390-29

○電話・FAX:019-688-4728

(不在の場合、お名前と連絡先を留守伝言のメッセージに残していただけると折り返し連絡します。)

○開所案内

年末～年始(12月29日～1月3日)を除く年中無休

午前8時30分から午後5時15分 (ただし、臨時に変更になる場合があります。)

○ケガや弱っている鳥獣を見つけたら、まず、ケガや衰弱の具合を見ることが大切です。むやみに手を触れたりせず、元気であればそっとしておいてください。ケガや衰弱のため、動けないようであれば、最寄りの広域振興局、総合支局、地方振興局保健福祉環境部又は保健福祉環境センターにお知らせください。なお、傷病鳥獣の状況により、しばらく様子を見守っている場合もあります。センターのスタッフが直接救護に向かうことは基本的にありません。

○鳥獣保護センターに傷病鳥獣を直接搬入される場合、それぞれの動物やケガ、症状に合わせた受け入れ態勢を整えて待機しますので、できるだけ事前にセンターまで連絡してもらえようお願いします。

○センターの見学や研修、野生鳥獣の貸し出しやボランティア活動などを希望される場合は所定の手続きが必要です。岩手県自然保護課もしくは鳥獣保護センターに連絡し、手続きについてお問い合わせください。

センターへのアクセス

